

令和4年10月22日にサンホールマツシロにて、東部ブロック協議会 人権教育研修会が開催されました。過去2年間においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、動画配信や各校代表者による少人数での開催とその動画配信という形で開催されておりました。今年度につきましては、人権教育研修会として、皆様の目の前で講師の方にご講演いただく形の方がより印象に残り、得られるものも多いのではと考え、人数は例年の半数としましたが、感染予防対策を講じた上で、参集での研修会とさせていただきます。ただし、講演後の分散会は行わず、講演のみとしました。



今年度の人権教育研修会は、「インターネットにおける人権 ～今、私たちが意識すべきこと～」というタイトルで、セーフティネット総合研究所所長の南澤信之氏にご講演いただきました。

講演の内容は

- 「インターネットの特徴」
- 「オンラインゲームの3大トラブル」
- 「SNS 利用上の注意点」
- 「ネット漬けになる子どもの健康への影響」



等、非常に多岐に渡り、今回の研修会では足りないほどのたくさんの項目についてご講演いただきました。

インターネットには永久保存性という特徴があり、一度ネット上に情報が載ると完全削除は不可能であるということ、その為、子どもが SNS にたった一枚の写真を公開するだけでも、人権侵害によりそこに映りこんだ人の人生を変えてしまう、加害者になってしまうこともあるということを、実例を交えて紹介していただきました。

また、SNS 利用上の注意点としては、

- ① 感情を書き込まない
- ② 個人を特定できる情報（顔写真等）を絶対に投稿しない
- ③ 確認できない情報や個人に関する情報は他人に回さない

ということが非常に重要とお話もお聞きしました。



研修会に参加された方々からは、

“現場でのリアルな声が聞けた”

“子どもを持つ親としてはすごく怖い話だと思ったが、話をきけてよかった”

“親としてネット社会でどうやって子どもを守るか、具体例もあり参考になった”

等、「よかった」という好評の感想を多くいただきました。



子どもたちがインターネットを利用する際には、まず親である私たち自身がインターネットの特徴やトラブルのリスク等についてしっかりと理解し、子どもと会話でコミュニケーションを図りながら具体的なアドバイスをしていくことが大切であることを学ぶことができました。

東部ブロック単位 PTA の父親母親委員長の皆様、そして当日ご参加いただいた皆様のおかげで無事、人権教育研修会が開催されたことを心より感謝申し上げます。